



2026年10月27日

各 位

会社名 株式会社情報戦略テクノロジー
代表者名 代表取締役社長 高 井 淳
(コード番号：155A 東証グロース市場)
問合せ先 取 締 役 瀧 本 崇
(TEL 03-6277-3461)

グループ会社 株式会社ピープルドットとの共催セミナー
「AIエージェント時代のデータ&AIガバナンス」第3回開催のお知らせ
～データ連携のケーススタディを通じて、データ区分とアクセス権限設計の論点を共有～

株式会社情報戦略テクノロジー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：高井 淳、以下「当社」）は、当社グループ会社である株式会社ピープルドット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：堅田 洋資、以下「ピープルドット」）と共同で、2026年10月15日（木）、全4回シリーズのセミナー「AIエージェント時代のデータ&AIガバナンス」の第3回を開催いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本セミナーは、当社が企画したシリーズの一環として実施したものであり、当社は今後も本シリーズの開催を通じて、企業のデータ活用とAIガバナンスに関する知見の共有に努めてまいります。

IST SEMINAR

AI エージェント時代のデータ&AI ガバナンスとは？

ピープルドット 代表取締役 堅田 洋資

第1回	第2回	第3回	第4回
AIエージェント時代のデータ&AIガバナンス 多様なリスクとガバナンスを俯瞰する	AIエージェントを活かすために必要なデータ品質とデータガバナンス	AIエージェントを活用する際のデータセキュリティの考え方	AIトランスフォーメーション(AI)を実現するための人・組織
8/20(木)	9/17(木)	10/15(木)	11/19(木)
第1回 8/20(木) 16:00-18:00	第2回 9/17(木) 16:00-18:00	第3回 10/15(木) 16:00-18:00	第4回 11/19(木) 16:00-18:00

お申込みはこちらから

恵比寿 15F 情報戦略テクノロジー オフィス内 大ホール

記

■セミナー開催の背景

当社は、AIエージェントの活用が広がる一方で、その土台となるデータ品質やデータガバナンスの整備が十分に進んでいない企業も少なくないとの課題認識のもと、「AIエージェント時代のデータ&AIガバナンス」と題した全4回シリーズのセミナーを企画いたしました。

第3回となる今回は、「AIエージェントを活用する際のデータセキュリティの考え方」をテーマに開催いたしました。

■第3回セミナー ハイライト



10月15日（木）に開催された第3回「AIエージェントを活用する際のデータセキュリティの考え方」では、交通系ICカード事業者と商業施設のデータ連携を想定したケーススタディを通じて、AIエージェントがデータへ自律的にアクセスする時代において、データ活用の利便性と安全性を両立するためのデータ区分とアクセス権限設計の考え方について解説が行われました。

「データガバナンス6つの観点」で課題仮説を考える

広義のデータ品質の課題のうち、重要だと思ふものを2〜3個選んでください。それぞれについて、「なぜこの問題が発生・放置されているのか」を仮説ベースで構いませんので、考えてください。

課題

不良率の定義が複数あり、AIが旧定義を利用している

例

DGの観点	考えられる課題（仮説）
目的・方向性	「不良率」の定義が部門間で揃っていない？
権限・責任	誰が正式な「不良率」の定義を決めるのか曖昧？
透明性	定義変更や旧定義を利用しているデータセットが見えない？
説明責任	なぜその不良率をAIが採用したのか説明できない？
監督・異議申立て	AIが旧定義を使っているも検知・指摘する仕組みがない？
修正・適応	定義変更後にBI・データ基盤・AIまで一括して更新する仕組みがない？

どのようなバランスを取るかは、データ活用の目的で決まる

組織としてデータで実現したいゴールが明確でなければ、ガバナンスがデータ活用の進展を阻む可能性があるため、まずは「データで何をしたいのか」を明確にするところから始める必要がある。

他社にないデータを 活用したプロダクトを 展開する	- 自社サービスのデータを活用した広告配信 - 自社プロダクトの走行データを使った保険商品の販売
独自のデータや 分析技術を外販する	- 地図情報や気象情報の販売 - AI受託開発・コンサルティング
プロダクトや 業務プロセスを 継続的に改善する	- ECサイトにレコメンドエンジンを導入する - コールセンター業務をLLMにより効率化する - 統計的な予測値を使って発注量を最適化する

短期的なデータ活用ではなく、中長期的な視点でデータ活用の目的、
いわば**ビジョン**を策定していくことが重要

データ活用とリスクはトレードオフ

データセキュリティの水準は「データで何を実現したいか」という目的から決まります。Need-to-know（知る必要のある人にだけ開示する）の原則を基本としつつ、攻め（データ活用）を強化すれば守り（セキュリティ）に要するコストも上がることを前提に、組織としてバランスを設計する必要性が示されました。

データセキュリティの「4つのAと1つのE」とデータ区分

DMBOK（データマネジメント知識体系）の枠組みである認証（Authentication）・認可（Authorization）・アクセス（Access）・監査（Audit）と、利用可能なデータの範囲（Entitlement）を軸に、機密性・プライバシー・法令や契約上の制約・利用や提供の制約・完全性といった観点でデータを区分し、取扱ルールを定める方法が示されました。

AIエージェントを含む主体へのアクセス権限設計（RBAC／ABAC）

役割に基づいて基本権限を付与するRBAC（ロールベースアクセス制御）に、利用目的・操作内容・承認状態などの条件で制御するABAC（属性ベースアクセス制御）を組み合わせる設計を、参加者がワーク形式で実践しました。ワークでは、データ分析チームやマーケティング部門と並んで、「マーケティング支援AIエージェント」もデータにアクセスする主体の一つとして扱いました。

■取り組みの内容

日時：2026年10月15日（木）16:00～18:00

会場：恵比寿ガーデンプレイスタワー15階 当社本社

講師：株式会社ピープルドット 代表取締役社長 堅田 洋資氏

テーマ：AIエージェントを活用する際のデータセキュリティの考え方

当日は、堅田氏より、前回までの振り返りに続き、データセキュリティを議論する前提として、政府・経営陣・従業員・データ提供元それぞれの要求、個人情報保護法や業法・GDPRなどの法令への対応、直接識別情報・準識別子・センシティブ属性という個人情報の区分、匿名性の考え方が解説されました。そのうえで、データ活用とリスクのトレードオフ、「4つのAと1つのE」、データ分類・区分、RBAC/ABACによるアクセス権限管理、抑制・一般化などの匿名化手法という5つの重要コンセプトが示されました。後半は、交通系ICカード事業者と商業施設のデータ連携を想定したケーススタディを題材に、データセキュリティ上の問題の洗い出し、データ区分と取扱ルールの設計、データ分析チーム・マーケティング部門・マーケティング支援AIエージェントの3主体に対するアクセス権限の設計を、参加者がワーク形式で実践しました。

■株式会社ピープルドット 代表取締役社長 堅田 洋資氏のコメント

「より高いスキルを持つ多くの社員が、より詳細なデータを使おうとするほど、求められるセキュリティレベルは高くなります。そして今では、不足するスキルをAIで補えるようになりました。つまり、全社員がデータサイエンティストになり得る時代です。こうした時代だからこそ、情報漏洩や目的外利用を防ぎつつ、データを安全に利活用するためのデータセキュリティが、これまで以上に重要になっています。今回のセミナーでは、データ区分とRBAC/ABACによるアクセス権限設計を、ケーススタディを通じて実践しました。私たちは今後も、企業のAIトランスフォーメーション（AX）に向けて、安全かつ秩序あるデータ・AI活用を支えるデータガバナンスの構築を支援してまいります。」

■全4回セミナースケジュール

【第1回】8月20日（木）16:00～18:00（開催済）

テーマ：AIエージェントの多様なリスクとガバナンスを俯瞰する

内容：AIチャットとエージェントの違いや、AIエージェントがもたらすリスクの3階層、AI活用の土台となるデータガバナンスの全体像について解説。

【第2回】9月17日（木）16:00～18:00（開催済）

テーマ：AIエージェントを活かすために必要なデータ品質とデータガバナンス

内容：AIの回答精度に直結するデータ品質の維持方法、メタデータ管理やデータオーナー論、製造業などのケーススタディを通じた論点を解説。

【第3回】10月15日（木）16:00～18:00（今回開催）

テーマ：AIエージェントを活用する際のデータセキュリティの考え方

内容：データ活用とリスクのトレードオフ、「4つのAと1つのE」、データ区分、RBAC/ABACによるアクセス権限管理、匿名化手法を解説。交通系ICカード事業者と商業施設のデータ連携を題材に、AIエージェントを含む主体へのアクセス権限設計をワーク形式で実践。

【第4回】11月19日（木）16:00～18:00（次回開催）

テーマ：AIトランスフォーメーション（AX）を実現するための人・組織

内容：AIを「同僚」として迎えるための業務プロセスと人材定義、AX推進ロードマップと具体的な人材育成施策を提案。

※会場：恵比寿ガーデンプレイスタワー15階 当社本社

■今後の展望

当社は、今後も本シリーズの開催を通じて、データ・AIガバナンスに関する知見の共有を進めるとともに、企業におけるAIエージェント活用の適切な推進に貢献してまいります。最終回となる第4回は、2026年11月19日（木）に同会場にて開催を予定しております。

■会社概要

【株式会社情報戦略テクノロジー】

会社名：株式会社情報戦略テクノロジー（東証グロース・155A）

代表者：代表取締役社長 高井 淳

所在地：東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号 恵比寿ガーデンプレイスタワー15F

電話：03-6277-3461

事業内容：大手企業向けDX内製支援サービス等

URL：<https://www.is-tech.co.jp/>

【株式会社ピープルドット】

会社名：株式会社ピープルドット

代表者：代表取締役社長 堅田 洋資

所在地：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-44 第2石坂ビル2階

事業内容：法人企業向けデータ・AI人材育成サービス、データマネジメント/AIコンサルティング、データサイエンススクール「datamix」の運営

URL：<https://peopledot.co.jp/>

以上